

夏の八方

夏の八方も愛する雪稜会員

夏の八方を紹介します。数年前まで毎年通っていました。



八方尾根の一番上、グラート・クワッド・リフトから斜面を撮った写真です。

冬のシーズンは積雪があるためリフトは高い位置にありますが、夏は低い位置に固定されています。

そのため、足元に高山植物が咲き乱れています。

写真は7月末のものです。



兔平ゲレンデのアルペン・クワッド・リフトを降りて、リーゼン・グラート・クワッド・リフトに向かう一帯は窪地になっています。

冬はリーゼン・グラートから滑り降りてくると上り坂になっているところです。ここは実は「湿原」なのです。夏は、木道が整備された遊歩道になっています。

最近の夏のスキー場はユリやラベンダーを植えたり、高山植物を移植したりして売り出しています。そこには人工的に作られた夏の景色があります。ところが、八方尾根の夏は自然そのものです。

写真の左上はリーゼン・グラートの斜面です。手前が湿原で、奥に小さな池が左右に伸びています。

写真中央にニッコウキスゲが見えますが、7月20日前後は満開になります。